

寺井議員 1001・1002 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 次世代のモビリティの検討を担当する部署はどこか。また、電動キックボードの実証実験を検討してはどうか。

---

### 答弁要旨

本市では、誰もが移動しやすい交通環境の実現に向けて取り組んでおり、新たな移動手段も含めて、都市戦略推進担当が担っていきませんが、例えば、議員ご指摘のような脱炭素や観光、さらには安全啓発といった目的に応じて、関連部署も変わることから、庁内連携の下で検討を進めてまいりたいと考えております。

次に、電動キックボードにつきましては、個人の短距離移動に適した乗り物のひとつとして、本年4月に改正道路交通法が可決されたことから、公道走行の検証を目的とした実証実験の段階は終えているものと認識しております。

(次ページへ続く)

しかしながら、今後は、期待されている回遊性の向上や環境負荷低減への寄与といった活用方法等の調査研究に取り組むとともに、法の施行に向けた各種法令等の動向を注視しつつ、交通ルールの周知など安全啓発に取り組んでまいりたいと考えております。

以 上

質問要旨 脱炭素化への取組だけではなく、観光施策としても電動キックボードは検討の余地があると考えますが、事業の中に取り入れる考えはないか。

---

### 答弁要旨

市内を周遊する手段といたしましては、公共交通機関や、これまでから実施しているコミュニティサイクルに加え、5月からは、脱炭素社会の実現に向け、公用車として導入した2人乗りの電気自動車を休日に市民等の利用に供するカーシェアリングの取組を始めており、観光の際にもご活用いただきたいと考えているところでございます。

議員ご提案の電動キックボードの導入につきましては、話題性や身近な乗り物ではあるものの、公道を走行するうえでの安全性の確保、本市の道路の整備状況など精査すべき課題もありますが、事業者などからの提案があった場合には対応して参りたいと考えております。

以上

質問要旨 不足しているケースワーカーの確保への取組、今後の方向性と課題について。

---

### 答弁要旨

議員ご指摘のとおり、本市の生活保護に係るケースワーカーについては、社会福祉法が定める標準の配置数を満たしておりませんが、別途、高齢者世帯の家庭訪問を担う行政事務員や、就労支援を専門に行う行政事務員を配置することで、役割分担のもと、被保護者への支援強化と合わせ、ケースワーカーの負担軽減を図っているところです。

今後も、専門的な業務を担う行政事務員の活用を継続するとともに、OJT等による各ケースワーカーの能力開発にも努める中で、適切な支援を行える運営体制を構築していきたいと考えています。

合わせて、ケースワーカーの増員についても、引き続き、庁内での調整を進めてまいります。

以上

質問要旨 被保護者の就労支援における課題は。

---

### 答弁要旨

就労支援における課題については、稼働能力はあるものの、心身の不調や意欲の低下、低学歴、就労経験不足などの就労阻害要因を複合的に抱えている方の割合が多く、就労に至るまでに相当の時間を要することが挙げられます。

被保護者への就労支援としては、意欲の高い方は就労促進相談員などが、南北保健福祉センター内に設置しているハローワークの出先機関「ワークサポートあまがさき」や、南北福祉相談支援課が実施する無料職業紹介事業などと連携し、求職活動支援を実施していますが、生活習慣が崩れているなど、直ちに求職活動を行うには課題のある方に対しては意欲喚起や就労準備支援としてグループワークを中心としたセミナーや職業体験の利用を勧めております。

引き続き、関係機関との連携を図り、対象者の状況に応じて一人ひとりに寄り添った就労支援を実施して参ります。

以上

質問要旨 ケースワーカーの業務負担軽減に係る取組  
実績と今後の展望について。

---

答弁要旨

先ほども答弁しましたとおり、ケースワーカーの負担軽減に係る取組としては、高齢者世帯の家庭訪問を担う行政事務員や、就労支援を専門に行う行政事務員を配置しております。

また、事務作業の面では、過去より、ケースワーカーと査察指導員が、その進捗を管理できる「進行管理表」を活用するほか、所内での各制度活用マニュアル化などの取組、さらには、新任ケースワーカーを対象とした各種研修による所内での統一見解の共有を図っています。

その中で、例えば、生活保護法第63条に係る返還金については、不正受給の未然防止の点からも、被保護者への収入申告義務の周知徹底を図るとともに、返還金の発生が想定された時点で進捗管理表に記載を行い、ケースワーカーとともに査察指導員が点検を行うことで、実際に事象が発生した時点での速やかな対応に繋げており、こういった取組により、近年の返還金の現年度収納率の増加や不正受給の新規発生件数の減少が実現され、ケースワーカーの負担軽減にも寄与しているものと考えています。

今後についても、現在の取組を継続しつつ、必要に応じた改善を行いながら、所内全体の事務効率化を図ってまいります。

以上

質問要旨 結婚してよかった、子育てをしていこう、と  
思っていただけ策として、立川市で実施しているプ  
レミアム婚姻届の作成や記念写真撮影コーナーの  
設置などを尼崎市でも実施していく考えはないか。

---

### 答弁要旨

本市におきましては、市制 100 周年を市民とともに祝  
う取組の一環として、北館入口付近に記念写真撮影コ  
ーナーを設けるとともに、市民の投票を経てデザインを  
決定した婚姻届を作成いたしました。

このうち撮影コーナーにつきましては、スペース等の  
問題から廃止しておりますが、現在も職員が記念撮影  
のお手伝いをすることはございます。また、婚姻届を提  
出される方のうち 4 割弱は当時 <sup>の</sup> デザインのも  
のをご利用いただいております。

シビックプライドの醸成について、人生の一大イベン  
トである結婚という機会を捉えることも効果的であると  
考えており、今後他都市の事例等を研究してまいりた  
いと考えております。

以上